

CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学
学報

JANUARY
2017
No. 108

contents

建築学海外研修

話題人

環境・建築学部 建築学科4年
河浪 静里奈さん

8コースアラカルト
各学科最新トピックス

NiAS TIMES
産官学連携
公開講演会
附属高等学校ニュース
未来創造寄付金
Information

きわめる。拓く。創り出す。
NiAS 長崎総合科学大学
Nagasaki Institute of Applied Science

CAMPUS
PRESS

長崎総合科学大学学報 No.108 2017年(平成29年)1月
編集・発行 長崎総合科学大学 総務企画課 〒851-0193 長崎県長崎市網場町536 TEL.095-838-5131 <http://nias.jp/>

2017(平成29)年度 入試のご案内

■大学入試案内

制度 項目	一般入試			センター試験利用入試			AO入試 AO特待生入試
	I 期	II 期	III 期	I 期	II 期	III 期	
出願期間	1/ 6(金) ▼ 2/1(水) 必着	2/15(水) ▼ 3/9(木) 必着	3/13(月) ▼ 3/25(土) 必着	1/ 6(金) ▼ 2/1(水) 必着	2/15(水) ▼ 3/10(金) 必着	3/13(月) ▼ 3/25(土) 必着	9/ 1(木) ▼ 3/10(金) 必着
試験日	2/4(土)・2/5(日)	3/12(日)	3/26(日)	—	—	—	随 時
合格 発表日	2/13(月)	3/17(金)	3/28(火)	2/13(月)	3/17(金)	3/28(火)	1/16(月)、2/13(月) 3/17(金)、3/28(火)
入試科目等	2科目 ◎1時間目／国語(国語総合) ※近代以降の文章 理科(物理) (化学) (生物) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅰ＋ コミュニケーション英語Ⅱ) ◎2時間目／数学		数学および面接 ◎1時間目／数学 ◎2時間目／面接	4科目(工学部)または3科目(総合情報学部) 1. 国語(国語)(国語のうち近代以降の文章) 2. 地理歴史・公民 (世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現代社会、 倫理、政治・経済、[倫理、政治・経済]) 3. 数学①(数Ⅰ、数Ⅰ・数A) 4. 数学②(数Ⅱ、数Ⅱ・数B、情報関係基礎) 5. 理科②(物理、化学、生物、地学) 6. 外国語(英、独、仏、中、韓)[英語はリスニングを含む]			面接(個別) 志望理由書 (出願時提出) ※600字～800字
試験場	本学、佐世保、五島 対馬、那覇、鹿児島 宮崎、大分、熊本 佐賀、福岡、松山 広島、大阪、東京	本学、鹿児島 福岡、広島 大阪、東京	本学	—	—	—	原則として本学
検定料	28,000円			13,000円			30,000円

■大学院入試案内

工学研究科 修士課程/博士課程

■附属高校入試案内

平成29年4月入学者（二次募集）		特別入試				一般入試（一次試験）		一般入試（二次試験）	
願書受付期間	2/8（水） ▶ 2/17（金） 必着	試験種別	学業推薦試験 一般 A・B特待	スポーツ推薦試験 一般 A・B特待	専願試験 一般	併願試験 一般 A・B特待	一般	A・B特待	一般
学 力 試 験 （修士課程のみ）	2/28（火）	出願期間	12/14（水）▶ 1/6（金） 必着				1/4（水）▶ 1/17（火）		3/14（火）▶ 3/16（木）
面 接	3/1（水）	試 験 日	1/12（木）				1/19（木）		3/17（金）
試 験 場	本学 （詳細は受付後通知）	会 場	本校				本校		本校
合 格 発 表	3/7（火）13:00 大学院掲示板	試験科目	国・英（リスニング有り）・数・集団面接 （学業・一般推薦は作文・集団面接）				国・英（リスニング有り）・ 数・集団面接		国・英（リスニング無し）・ 数・個人面接
入 学 検 定 料	30,000円	合格発表	1/16（月）				1/23（月）		3/17（金）
		受 験 料	6,000円				12,000円		12,000円

学費サポート制度(特待生制度・優待生制度)

特待生 **A1** 授業料を全額免除(4年間)

国立大学よりも学費がかりません

センター試験利用入試または一般入試(I期・II期)にて選考

対象 学力・人物の優秀な者 ※成績不良等で取り消し有

特待生 **A2** 授業料1/2免除(4年間)

センター試験利用入試または一般入試(I期・II期)にて選考

対象 学力・人物の優秀な者 ※成績不良等で取り消し有

特待生 **B** 授業料1/2免除(4年間)

AO特待生入試にて選考 対象 次のいずれかに該当する者 ※成績不良等で取り消し有

- ①高度な特技・資格を有し、それを本学で発揮しようとする者
- ②各種コンテストやスポーツ・文化活動等で優秀な成績を収め、本学でその能力をさらに伸ばし発揮しようとする者
- ③本学主催「全国高校生アイデアコンテスト」で優秀賞以上を受賞した者

外国人留学生入試(前期)にて選考

対象 日本留学試験の日本語250/400点程度。数学の成績も合わせて総合的に判定する。
※成績不良等で取り消し有

在学生の優待制度

3年生または4年生で学力および人格が優れた者に対して授業料を免除します。3年生は2年次までの成績、
4年生は3年次までの成績が選考対象となります。(3年次で優待生に採用された者も、4年次には再度選考となります)

きわめる。拓く。創り出す。

NiAS 長崎総合科学大学

※NiAS(ニアス)は、大学の英文名
Nagasaki Institute of Applied Scienceの略称です。

長崎総合科学大学「Facebook」&「LINE」! 大学の様々な情報を配信しています。ぜひ、ご登録ください。

f <https://www.facebook.com/nias.ac.jp>

LINE @nias

SNSでも情報発信中

本学モバイルサイトに
アクセスできます。





北欧へ

～感動伴う体験を求めて～

報告: 森 広大さん (工学部工学科建築学コース3年)

2016年度 建築学海外研修 8月26日～9月4日



森広大さんとムーミン

昨夏、私たち建築学コース10名はフィンランドとスウェーデンに10日間行ってきました。フィンランドまでは福岡から飛行機で片道10時間。未知の世界へ踏み出す不安と憧れ、建築や文化に直に触れられる興奮、これらが今にも体から溢れそうでした。

この旅は建築学コースの「建築学海外研修」という講義の一環で行われたもの。目的は「海外での実体験を通して、その見方や考え方の向上」、普段の座学では得られない経験を得るための講義のひとつです。

フィンランドとスウェーデンについて皆さんはどのような印象を持っていますか?「家具が可愛い」「ムーミンのふるさと」「福祉が充実している」でしょうか。今回の海外研修に参加して学んだこと、それは大きく分けて3つです。

1つ目は建築について。全体的に森を意識して建物を作っているように感じた。木立をイメージして柱を立て、窓から差し込む光も木漏れ日をイメージして設計されている。北欧の人々にとって森は教会のような存在であるらしく、ムーミンもその象徴的存在でしょう。

また、年間を通して太陽高度が低いこの地域は、建物内により多くの光を取り込む設計がなされていました。中でも特徴的だったのはアルヴァ・アアルト設計の国民年金会館のホールでしょう。窓を二重構造にすることで、低い太陽高度からでも太陽光を反射させて室内へ取り込みます。私はこの

海外研修に参加して、以前より光の扱い方に興味が湧き、もう一度勉強し直し始めました。将来、今回の経験が役立ったと言えるよう努力したいと思っています。

2つ目は、北欧の人々のライフスタイルについて。昨今、マリメッコやイッタラ等に代表される北欧家具が日本でも人気です。北欧家具の魅力はその使いやすさとデザイン性ですが、これにはきちんと理由がありました。それは自分たちの生活をより豊かなものにしていくためです。「豊か」とは決して裕福なことではなく、普段の生活をより楽しく充実したものにするために彩や工夫を添えることです。フィンランドの建築家のアルヴァ・アアルトは建物を建築する際に家具まで設計しています。数十年前の専門機器の無い時代に行われた「豊かさ」への膨大な思考実験の数々に圧倒されました。彼の作品に触れ、私の建築への姿勢を見直す良い機会となりました。

3つ目は、北欧の人々の価値観について。「隣の芝は青い」ということわざがありますが、北欧の人々にはこの感覚が薄い気がします。他人に惑わされず自分をしっかりと持つ。そしてそれは同時に他人を思いやることに直結する。この価値観が現在の福祉制度や教育体制へ人々を導いたのだと思います。自分の好奇心や探求心に従って勉強や研究に取り組む。この姿勢が今の自分たちに番欠けているモノなのではないでしょうか。

あります。元々、長崎総合科学大学は造船を専門とする大学でした。本学の建築学コースという船に乗って海の向こうへ渡ってみてはいかがでしょうか。



海外へ飛び出すもう一つの応援プログラム! UNE語学・異文化研修プログラム



「UNE語学・異文化研修プログラム」は、オーストラリアニューサウスウェールズ州アーミデールのニューイングランド大学(UNE)英語センター(ELC)で語学学習と異文化研修を目的とした3週間の短期留学プログラム。

本学の学生をこれらのグローバル社会の発展に寄与する人材として育成することを目的とし設立された「小辻梅子海外留学支援基金」より研修費の助成を受けて、昨年度にはじめて実施しました。第2回目には2016年8月6日～8月29日の間、1年生から4年生までの10名が一般の家庭にホームステイをして滞在し、英語学習のほか、スポーツUNE、ホームステイ先でのホストファミリーとの交流などを通じて、現地での生の英語と異文化に触れました。

今夏、参加した向井蓮さん (工学部船舶工学コース2年)

朝から夕方まで他の国から留学にきている生徒たちと一緒に英語の授業。休み時間には自分のもてる英語の知識を全力で生かし沢山のひとたちとコミュニケーションをとりました。ホストファミリーも優しい人ばかり。今回の短期留学を通して、もっとも英語を学びたいと考えるようになりました。将来、海外派遣などに行ったら現地の人たちと深く交流したい、そのためにもっと多くの経験をしたいと思っています。



向井蓮さん(後方中央)とホストファミリー



工学部工学科 船舶工学コース

海の日(7月16日～18日)に水辺の森美術館にて「海洋産業フェスタ in Nagasaki」が開催されました。本コースからは、2年生がインターンシップでイベント運営をお手伝い、4年生が溶接シミュレーターの展示、ソーラーボートの試乗、ROV(遠隔操作型水中ロボット)組立のアシスタント等にて大活躍しました。また大学院生が「長崎海洋大使」として海洋産業先進地の欧州へ派遣され、今後、本学の公開講演会等にて報告を行う予定です。



工学部工学科 建築学コース

8月26日から9月4日までの10日間、建築学コースの3年生 9名、4年生1名と引率教員1名は、建築学海外研修の授業でフィンランドとスウェーデンに行ってきました。北欧の建築は長い冬を室内で快適に過ごせるように、室内空間を大切に造られています。また、建築家が積極的にインテリアにも関与していて、使い勝手がすごく工夫されています。さらに光の使い方にも感心させられた旅でした。



工学部工学科 医療工学コース

11月5日に開催された第53回造大祭で『美女と野獣のディスコダンス』と題し、本コースの非常勤講師である松岡弘親先生を中心に学生達と『PERFECT HUMAN』などのダンスを披露しました。短時間のイベントでしたが会場から手拍子があり、熱いステージとなりました。教員と学生がステージを共にすることで、「チーム医療」の絆が深くなりました。イベント後に松岡先生は「次年度も参加し、今後は医療工学コースの伝統としていきたい」と熱く語られていました。



総合情報学部総合情報学科 マネジメント工学コース

7月31日、8月22日、9月25日に本学オープンキャンパスが開催され、マネジメント工学コースでは「コース紹介」の他に、「マネジメントを見える化しよう」「株価を工学する」「アンケートでこんなことも分かる」「Androidアプリを作ってみよう」(写真)を展示し、自由に見てもらいました。参加者からは、「コースの事がよく分かった」、「マネジメントに興味を持った」や「勉強したい」との感想もいただきました。



工学部工学科 機械工学コース

機械工学コースには、「材料強度」、「振動音響工学」、「熱工学・バイオマス」、「構造動力学」、「流体工学」の5つの研究室があります。その中で、振動音響工学研究室所属の井上朝陽さん(4年生)が9月に福岡で開催された日本機械学会2016年度年次大会で「構造変更によるSEAパラメータへの影響に関する研究」を講演し好評を得ました。3年後期の機械工学ゼミの講義から約1年をかけ研究成果を積み上げました。



工学部工学科 電気電子工学コース

9月28日に宮崎大学で開催された電子情報通信学会九州支部学生会講演会に電気電子工学コースから4年生の山之内 圭佑君(論文:集積化脳神経プロブ向けCMOSリファレンス回路の一考察)と1年生の馬場 哲平君(論文:線形計画法による異常時の院内グリッドのエネルギーマネージメント)の2名が研究成果の発表をしました。発表者の大多数は大学院生でしたが学部生の山之内君が本年度の「学生会講演奨励賞」を受賞しました。



総合情報学部総合情報学科 知能情報コース

11月16・17日パシフィコ横浜で開催された「ETロボコン2016チャンピオンシップ大会」に於いて、本コースの「NiASET」がアドバンスクラスに出場しました。競技は全国12地区300を超える参加チームの中から勝ちあがってきた20チームで競われ、上位6チームが満点を超えるハイレベルな戦いとなりました。NiASETもRコースで最速タイムを記録するなど大活躍し学生チームの中では最高位の第3位を受賞しました。



総合情報学部総合情報学科 生命環境工学コース

生命環境工学コースでは、企業が開発した下水汚泥処理技術から排出される汚泥残渣や処理廃液の有効利用技術を開発するために取り組んでいます。現在は低分子化された下水汚泥残渣を機能性肥料となる技術(特許出願中)を開発し、農家に配布して機能性肥料の実証を実施しています。



話・題・人

Close up People

コスプレで萌えおこし会社おこし 目標は卒業までに起業!

表紙にコスプレで登場の河浪静里奈さん(環境・建築学部建築学科4年)はコスプレ歴4年。完成度の高い自作のコスチュームやメイクを披露し、長崎のサブカル界で活躍するコスプレイヤーとして知られる存在です。



『コスプレ』とは?アニメやゲームの登場人物に扮して表現すること。今や世界中でコスプレのイベントが開催され、東京や名古屋などで開催される「コミケ」では、3日間開催の場合、のべ入場者数約50～60万人、コスプレイヤー数2万人以上という規模で開催されています。

「今、卒業研究と起業の準備で忙しくて・・・」と、輝く笑顔の河浪さん。「生まれ育った長崎を楽しくてワクワクする街にしたいという願いをこめて『長崎打ち水大作戦』などにコスプレで参加しました。」そして、それだけでは満足せず、「私がワクワクを企画して長崎を盛り上げていこうと決意し、コスプレのイベント企画会社を立ち上げる準備を進めています。目標は卒業までに。」と話します。きっかけは、長崎でコスプレ撮影会を企画し、観光地などに交渉すると「コスプレはちょっと・・・」と断られることが多かったのだそう。しかし、「長崎には美しいロケーションや歴史的な建物など素敵な景色が沢山あります。また、人気漫画の舞台になるなど、アニメの聖地になってもおかしくありません。そこでひらめいたのが、世界共通カルチャーであるコスプレのイベントで長崎の魅力を世界中に拡散できるのでは?ということ。イベント企画は、企業とのコラボや観光協会などに働きかけて、コスプレを通して長崎の魅力を発信するような活動を考えています。集まったコスプレイヤーが長崎を舞台に思い思いの表現活動をし、SNSなどで世界中に拡散する。それを長崎の「地域おこし」に繋げていきたいのです。」と話します。

自ら演じるコスプレイヤーからその先へ。この春、河浪さんの挑戦がいよいよ始動します。

《「コミケ」=コミックマーケット》

1975年に始まり既に40年以上の歴史を持つ日本最大の同人誌即売会。通常は、年2回、国際展示場(東京ビッグサイト)全ホールを使い、これまでに90回開催されている。



環境・建築学部建築学科4年(諫早高校卒業)

河浪 静里奈さん Serina Kawanami



日見公民館まつり

本学シーサイドキャンパスに隣接する日見公民館の「日見地区公民館まつり」が11月20日に開催され、吹奏楽部の演奏と沖縄県人会エィサーの演舞で会場を盛り上げました。本学が出演する2つの催しを楽しみにしている住民の方も多く、今年も迫力の演奏・演舞で人々を魅了していました。

仕事研究セミナー

本学では、低学年よりキャリア教育の一環とし、沢山の企業をお招きする大学独自のセミナーを毎年開催しています。今年度も第1回目として「仕事研究セミナー」を12月21日に開催し、学生345名が参加しました。前半は『これから“日本のオトナ”として生きるために～ワークライフバランスが自分の価値を高める～』と



留学生と日見小3年生が国際交流

本学の留学生11名と日見小学校3年生児童との交流会が10月19日と11月29日に日見小学校体育館で行われました。これは小学生に留学生との交流を通して外国の文化や言語に関心を持たせ、遊びや活動の中でコミュニケーションをとり、お互いを理解しあうことの大切さを楽しみながら学習してもらう目的で行っています。また、空き時間を利用して留学生の出身国の言葉を教えたりと、お互いの国の文化に触れ楽しく交流しました。

題した講話、後半は全国の企業より本学OB・OG26人が来学し、グループに分かれてフリートークを行いました。年齢の近い先輩に仕事のことや学生時代の話などを何でも質問出来る機会に、学生たちは就職に対する不安や学生時代の過ごし方など思う存分聞いて学びを深めている様子でした。なお、第2回目は3月に企業面談会を開催する予定です。



NiAS TIMES

学生 × 地域

学生手作りのイベントで大学周辺の地域とつながり、

小学生や自治体のみなさまと温かい交流を続けています。

竹灯籠でライトアップ

本学の竹林整備サークル「竹取物語」が日見地区住民の皆さんと協力し、8月27日、長崎ペンギン水族館の「サマーナイト水族館」の目玉の一つとして、約600本の竹灯籠で駐車場から水族館までのピクトープ通路185mを幻想的に演出しました。この竹灯籠によるライトアップは、大学周辺の長崎市日見地区の活性化につなげようと、竹林整備を考える本学学生サークル「竹取物語」と地域の団体「日見地区みんなでつながりタイ」がタッグを組み、昨年から行っているイベント。7月頃から長崎市川平地区の竹を伐採し、竹灯籠制作を行ってきました。当日は約600本の竹灯籠を長崎水族館のピクトープ通路へ並べて点灯し、夜の水族館の雰囲気演出しました。



地域とつながる
地域を結ぶ。

夏休みおもしろ船教室

工学部船舶工学コースが、毎年恒例イベント「夏休みおもしろ船教室」を8月31日、大学で開催し、地元の学童クラブの児童と指導員・保護者などの約50名が参加しました。当日は天候にも恵まれ、船舶工学コースの全教員と4年生が指導にあたり、海のイベントと陸上のイベントを実施。プレジャーボート操船体験では、指導者のもとに子ども達全員がプレジャーボートを実際に操船(運転)し、そのスピード感や波しぶきに笑顔で歓声を上げる場面が何度も見られました。陸上のイベントでは、塗装などのシミュレーション体験のほかに、船のペーパークラフト製作教室を開催しました。



各地のイベントにひっぱりだこ!!

大人気! ロボコンサークル「NiAS夢工房」とETロボコン「NiASET」

NHKロボコンへ挑戦を続けるロボットサークル「NiAS夢工房」とETロボコン全国大会で昨年度優勝、今年度3位のETロボコン学生チーム「NiASET」が長崎市内各地で開催されるイベントへ出展しています。また、ロボコンサークルだけでなく教員と学生が一



エコライフフェスタ(10/16)



青少年の科学の祭典(10/23)



青少年の科学の祭典



青少年の科学の祭典



技能まつり(11/13)



青果まつり(11/20)

NHKロボコン『NiAS夢工房』(顧問:佐藤雅紀准教授)

「NHK学生ロボコン2016」 (7月8~11日大田区総合体育館)

大学だけでなく高等専門学校や大学校を含むチームから、書類選考、第1次、第2次の厳しいビデオ審査を通過。上位24校に残り、3年ぶり14回目となる本戦への出場権を獲得しました。7月10日に大田区総合体育館で行われた『ABUロボコン2016日本代表決定戦』に挑みましたが惜しくも敗退。全国準優勝経験もある本学伝統のロボコンサークル『NiAS夢工房』は今年も挑戦を続けます。



ETロボコン『NiASET』(顧問:下島真教授)

「ETロボコン2016チャンピオンシップ大会」 (11月16・17日パシフィコ横浜)

デベロッパー部門アドバンストクラス	
競技部門	第3位(学生チームの中では1位)
モデル審査	第6位(同2位)
総合	第4位(同1位)



長崎新聞社と包括的連携協定を締結



本学と長崎新聞社は7月15日、グリーンヒルキャンパスで地域社会発展に向けた包括的連携協定を結びました。

今回の協定は本学と長崎新聞社が「地域社会の人材育成」および「地域社会の発展に関わる調査研究、情報発信」等に協力していくことを目的としています。

締結式で長崎新聞社の才木邦夫社長は「新聞の情報発信力と大学の知的財産を合わせることで地域の人材育成などに貢献していきたい」とあいさつがありました。本学の木下健学長は「マスコミの力は世の中に大きな影響を与える。長崎新聞社及び既に同社が協定を締結している他大学とも、一体化し、地域の文化や人材育成を通して地方創生に力を尽くしたい」と話しました。

東長崎エコタウン構想を推進

公開講演会

『東長崎エコタウン構想推進…ゼロエミッションを目指して』東部下水処理場におけるメタン発酵残渣肥料化の実証（主催：東長崎エコタウン協議会、共催：長崎総合科学大学・長崎市）を8月2日（火）、グリーンヒルキャンパスにおいて、企業・自治体関係者、学生・教職員を含め約50名の参加で開催しました。

講演では、大学院新技術創成研究所の大場和彦教授が長崎市東部下水処理場の下水汚泥の水熱処理施設「メタサウルス」の概要および成果を解説。さらに、廃棄残渣より肥料化した資材は長崎市農業センターでトマトやホウレン草などの試験栽培を行い、農作物に有効であり、国の肥料登録したことを報告しました。



新技術創成研究所の大場和彦教授

地域との連携

本学と三菱長崎機工(株)の共催で、「下水汚泥由来資材を活用した、家庭で簡単にできる土づくり講習会」を8月21日、11月6日に長崎市農業センターで開催し、両日ともに約50名の市民が参加しました。

講師を務める下高敏彰（大学院博士課程）さんは長崎市農業センターにおいて、下水汚泥由来の登録肥料を地元の農家に配布して実証研究を行っています。



メタン発酵残渣等のゼロエミッション化の基礎研究を継続

「メタサウルス」は国土交通省のB-I d a s h事業として三菱長崎機工(株)と長崎市、本学との共同研究で2013年から稼働。下水処理後の汚泥をこれまでの約5分の1にすることに成功。その後、汚泥残渣肥料化の実証研究から生まれた課題や、市からの検討課題を大学の基礎研究にフィードバックして、ゼロエミッションを目指しています。



長崎の企業経営者が本学を視察

10月6日、長崎経営者協会様より、会員11名が本学を訪れ「東長崎エコタウン構想」の取り組みの中で谷川建設(株)との共同研究「エネハウス」や三菱長崎機工(株)の「メタサウルス」を視察しました。



公開講演会

「21世紀の科学技術」 ～海 世界最深の生命圏と海底観測～

◎大学院新技術創成研究所主催 ◎12月10日 サンプリエール(長崎市元船町)

長崎の地で先端科学や技術の最前線に関する理論や動向に触れる機会を提供することを目的とした講演会も今回で14回を数え、今年は「世界最深の生命圏と海底観測」をテーマに開催。長崎県内の高校生や一般市民など230名が熱心に聴講しました。

海洋研究開発機構の稲垣史生氏の基調講演では、深海の底をさらに掘ると生物はどの深さまで生きているのか。世界最高の掘削能力を持つ地球深部探査船「ちきゅう」で水深1180mの海底下をさらに地球の深部へ向けて2466m(世界記録)まで掘り進め、そこに生息する微生物のサンプル採取に成功。それを生命誕生の謎や天然ガスやメタンハイドレートといったエネルギー資源物質の形成など様々な角度から検証し解き明かされていく地球のメカニズムについて講演しました。

川口勝義氏は、地震や津波の発生予測はどこまで正確にそして迅速に世界に発信することができているのか。これまでの常識を覆す地震や津波の発生予測を実現不可能と言われた、まさにSF映画さながらの海底ケーブルネットワークの開発成果について講演いただきました。

また、本学を代表して、総合情報学部知能情報コースの佐藤雅紀准教授が「水中ロボットをつくらう!」本学学生で大学院工学研究科修士1年の平 昂清さんが「スコットランドの海洋エネルギー実証フィールド」と題して研究発表を行いました。

会場内には、一対二で講師に質問が出来る「質問コーナー」が設置され、海を題材とした先端科学の話題に目を輝かせる大学生や高校生の姿が見られました。



海洋研究開発機構
高知コア研究所・海洋臨創科学研究開発センター
稲垣史生氏



海洋研究開発機構
地震津波海域観測研究開発センター
川口勝義氏



目を輝かせながら
講師に質問をする高校生



大学院工学研究科修士1年
平 昂清さん



総合情報学部知能情報コースの
佐藤雅紀准教授



本学 平和文化研究所主催トークイベント ◎11月5日 本学201講義室

ボックスカーの見た長崎 ～米軍が撮影した長崎原爆記録映像～

本学の矢正人名誉教授が、長崎原爆投下時に米軍が撮影したきのこ雲の映像や、戦場で核兵器が使用された際に米兵が放射性降下物を予測するための資料などを基に長崎原爆の被害の解明について研究発表を行いました。



研究発表の様子



矢正人名誉教授



学校法人 長崎総合科学大学 未来創造寄付金 ご寄付を賜り、深く感謝いたします。(平成28年6月1日から平成28年11月30日まで掲載)

《個人寄付者》敬称省略

蛭川 誠嗣	宮原 誠	大場 登	石山 茂	久保 一雄
船橋 修一	坂口 知広	祖一 徳雄	下村 明生	川原田 典昭
昆 正實	秋根 好秀	村上 健夫	松本 健	村田 義幸
佐々木 昭	古野 弘志	日野 義幸	川崎 薫	金丸 俊行
昆 美知子	田坂 美樹	小山 登	加藤 昌克	加来 栄蔵
上野 憲一	運上 賢逸	饒辺 律子	廣津 義憲	田淵 雄三
直木 達生	蛙石 孝典	本多 雄一	高藤 敏明	木谷 政信
井星 幸雄	山本 弘道	横尾 寛	本多 敏夫	本村 政勝
柿原 良之	下田 美子	松田 充泰	向井 保之	松尾 滝俊
大山 博康	福田 和彦	江副 節子	古賀 賢治	森本 秀範
奥村 典男	下高 修二	清水 偉宣	中野 洋子	
中犀 光啓	田中 一志	鬼塚 和人	北脇 良憲	
堀江 則明	馬場 英雄	松本 三郎	田中 学	
原田 啓輔	瀧 良久	玉城 仁秀	立石 曉	

《企業寄付社》敬称省略

不動技研工業株式会社
株式会社野副建設
株式会社ライト建築設計事務所
株式会社井筒造船所
株式会社PAL構造
株式会社トラスティ建物管理
東栄不動産株式会社
株式会社ビバホーム
株式会社橋本商会
有限会社松崎土建
東武トップツアーズ株式会社長崎支店
有限会社肥前屋
有限会社古賀プロロケーションサービス

寄付のお申し込み
お問い合わせ

長崎総合科学大学

〒851-0193 長崎県長崎市網場町536

総務企画課 未来創造寄付金担当 TEL.095-839-3111(代表) FAX.095-839-0584 E-mail mkifu@NiAS.ac.jp

New Staff Interview

今年度、新たにスタッフとなった教職員を紹介します。
①所属・職名 ②趣味・特技

県立高校で25年間数学を指導、その後小中高生に数英の学習指導を行ってきました。つまりさまでさかのぼって数学を指導します。学習支援センターへご相談にいらっしゃって下さい。

タケシタ シンゴ
竹下 伸吾

①学習支援センター(数学)
②読書、ICT(情報通信技術)の教育への活用

『学内でのお母さん』志望で皆様との出逢いを楽しみに参りました。23年間の臨床経験を生かしつつ、誰もが足を踏み入れ、ほっこりとした気持ちになれる保健センターを目指します。

ノナカ ヒロヨ
野中 広世

①保健センター
②スポーツ観戦と試合の応援

表紙のはなし



森本晃平さん(左)と谷川一成さん(右)

夢は空より高く



表紙写真のドローンを飛ばしてくれたのは、『フライ』の谷川一成さん(電気電子工学コース4年)と森本晃平さん(同コース2年)、『フライ』は無人数型機(ドローン)レース出場を目指す自作機体の学生開発チームで2016年に結成し、現在は15名で活動。学生の課外活動を支援する『NiASプロジェクト』※に採択され、これまでレース用ドローン2機を試作、飛行練習を重ねています。開発は、本体の軽量化や強度だけでなく、姿勢の制御プログラムなど多岐にわたります。また、社会に目を向ければ、ドローンをビジネスに活用する機運が高まっています。谷川さんと森本さんは「レース参加を通じ、技術力や操縦力を一層高めていきたい」と話します。

※『NiASプロジェクト』とは
本学には学生のプランや夢を叶えるしくみがあります。それが『NiASプロジェクト』。学生からチャレンジしたい企画や研究を募集し、審査で選ばれたものを『NiASプロジェクト』として大学が夢の実現をサポートします。



附属高等学校ニュース

High School Attached to Nagasaki
Institute of Applied Science News

第95回全国高等学校サッカー選手権全国大会出場！

サッカー部が第95回全国高等学校サッカー選手権 全国大会に2年ぶり4度目の出場を果たしました。1回戦は12月31日等々力陸上競技場にて、神奈川県代表・桐光学園高校と対戦し、2対0で勝利。2回戦は1月2日鹿児島県代表鹿児島城西高校と対戦しPK戦の末、残念ながら惜敗の結果となりました。しかし、新チームは次の目標に向けてすでにスタートしています。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

また、この大会の優秀選手34名が1月9日に発表され、本校からMF薬真寺孝弥選手、FW安藤瑞季選手が選ばれました。



《今年度の成績》

◎平成28年度全九州高等体育大会(全九州高等学校サッカー競技)初優勝し、インターハイに出場(兵庫：滝川第二高に惜敗)

◎高円宮杯U-18サッカーリーグ2016プリンスリーグ九州 無敗で1位。

◎第95回全国高等学校サッカー選手権 2回戦敗退。

バレーボール



高校総体・春高県予選ベスト8



ヨット

長崎県高校総体男子総合準優勝、九州大会出場。「希望郷いわて国体」のセーリング競技少年男子420級に長崎県代表として2年連続出場しました。入賞はのがしたものの、クルーは1年生。今後の活躍が期待されます。



野球

秋の九州高校野球長崎大会で、昨夏甲子園出場校の創成館高校を九回裏サヨナラで勝利し、ベスト8進出。優勝した長崎日大に敗れましたが着実に力をつけ、来年こそは念願の甲子園出場が期待されます。

体育祭&文化祭

9月11日に体育祭、10月21日に文化祭を実施しました。

体育祭では、「一番の目玉の3年生によるパフォーマンス合戦のほか、人気種目の「総高一の力持ち」など、多彩なプログラムで盛り上がりました。また、今年も近隣の中学生招待リレーも実施しました。

文化祭では大学吹奏楽部とのコラボや日見幼稚園児の「大漁太鼓」をはじめ、牛井や五島うどんのバザー、クラス単位の出し物、M1グランプリなど、普段は見られない多彩な生徒の才能を披露しました。

両日とも沢山の保護者や地域の方々にご来場いただき、思い出に残るイベントとなりました。

